

# 女夫石遺跡発掘調査速報

## No50

いよいよ50号を向かえました。女夫石発掘調査速報もこれでおしまいになります。調査は寒い中まだ行っていますが・・・。

沢リとマキの名前の由来はわかりましたか？察しのいい皆さんは気づいていますよね。沢リは穂坂の倭文神社（しまりじんじや）、マキは穂坂牧（ほさかまき）から名付けました。穂坂地域にとってはとても大切な名前なのです。

それでは皆さんご愛読？ありがとうございました。速報に誤字・脱字が多々あったことをお詫びします。



配石遺構から鳳凰三山と甲斐駒ヶ岳を望む  
女夫石縄文人もこの風景を見たんだろうね！神秘的な風景だよ。



巨石周辺の祭祀空間から住まいの空間を望む  
住まいと祭祀の空間がはっきりと分かれていたことが分かるね！



巨石に祭られた石棒

母なる大地から現れた巨石の周りでお祭りが繰り返されたのが分かるね。土偶・石棒・ミニチュア土器を使ってどんなお祭りをしてたのかな？

沢リ：もうすぐ今年も終わっちゃうね、発掘調査もいよいよ大詰めだってさ！それにしても女夫石遺跡では色々な発見があったね！

マキ：そうだね、巨石の周りから石棒・土偶・ミニチュア土器なんかがたくさんでて、女夫石縄文人にとってあの巨大な岩がシンボルだったんだよね！これまでの調査では縄文時代中期のまん中頃から女夫石縄文人が住み始めたと考えられていたんだけど、もう少しさかのぼりそうだよ。

沢リ：量は少ないけど中期の最初の頃の土器の破片が確認されたんだってさ！

マキ：じゃあ、中期の約千年間にわたって、女夫石縄文人は巨石周辺でお祭りみたいなことをしていたんだね。

沢リ：そうだね、これから発見された遺物や遺構を細かく分析することで、屋外調査では分からなかったことも、分かってくるかもしれないね！

マキ：それにしても、発掘調査を手伝っていた皆さんは、猛暑と寒波の中で大変だったよね！

沢リ：手伝ってくれていた皆さんの力がなければ、今回の調査は成功しなかったもんね！本当に皆さんお疲れ様でした！！（おわり）



担当者のお気に入りの女夫石遺跡と遺跡から見た風景なんだってさ！風景もいいけど、遺跡の名前もいい名前だよ。



1月28日（日）には東京エレクトロン  
韮崎文化ホールで『新府城と武田の里』  
のシンポジウムがあるよ！みんな聞きに  
来てね！次のページに案内チラシが付い  
てるよ！

# 風林火山の世界 新府城と武田の里

記念講演

## 地域を活かした史跡整備

—その原点は保存と活用のバランスをおさえること—

本中 眞氏 [文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官]

◆基調報告

「新府城を取り巻く景観と発掘調査成果概要」： 関間俊明氏

◆基調講演

「新府城跡にみる武田氏の築城法～近年の発掘調査事例から～」： 山下孝司氏

「新府城からみる戦国時代の作法と心意」： 中澤克昭氏

「新府城の建築と武田氏の空間志向」： 伊藤裕久氏

「新府城跡整備と武田の里まちづくり」： 笹本正治氏

◆討論：コーディネーター 萩原三雄氏

平成19年1月28日[日] 午前9時[受付・開場]

東京エレクトロン韮崎文化ホール(大ホール)

全席自由 500円[弁当・資料付]

主催：韮崎市/韮崎市教育委員会

後援：山梨県教育委員会/山梨郷土研究会/武田氏研究会/山梨県考古学協会/韮崎市郷土研究会

お問い合わせ：韮崎市総務課秘書室まちづくり推進担当 TEL 0551-22-1111

下絵：堤家所蔵「新府城絵図」

## プログラム&プロフィール

- 9:00～ 開場・受付
- 9:30～ 9:45 開会行事
- 9:50～ 10:20 基調報告「新府城を取り巻く景観と発掘調査成果概要」  
関間俊明氏[うるまとしあき]  
韮崎市教育委員会生涯学習担当主任。
- 10:20～ 11:15 記念講演「地域を活かした史跡整備  
—その原点は保存と活用のバランスをおさえること—」  
本中 眞氏[もとなかまこと]  
1954年大阪府生まれ。千葉大学園芸学部造園学科卒業。昭和52年から奈良国立文化財研究所において、発掘調査及び復元整備事業に携わる一方、全国各地の遺跡庭園や歴史的庭園に関する調査研究に従事。現在、文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官。農学博士。主な著書『日本古代の庭園と景観』『借景』
- 11:15～ 11:55 基調講演「新府城跡にみる武田氏の築城法～近年の発掘調査事例から～」  
山下孝司氏[やました たかし]  
韮崎市教育委員会生涯学習担当副主幹。

■■■■■■■■ 11:55～ 12:35 昼食(40分間) ■■■■■■■■

- 12:35～ 13:15 基調講演「新府城からみる戦国時代の作法と心意」  
中澤克昭氏[なかざわ かつあき]  
1966年長野県生まれ。青山学院大学大学院博士課程退学。現在、長野工業高等専門学校校助教授。歴史学博士。主な著書『中世の武力と城郭』
- 13:15～ 13:55 基調講演「新府城の建築と武田氏の空間志向」  
伊藤裕久氏[いとう ひろひさ]  
1958年三重県生まれ。東京大学大学院博士課程修了。現在、東京理科大学教授。工学博士。主な著書『中世集落の空間構造』『近世都市空間の原景』
- 13:55～ 14:35 基調講演「新府城跡整備と武田の里まちづくり」  
笹本正治氏[ささもと しょうじ]  
1951年山梨県生まれ。名古屋大学大学院博士課程前期修了。現在、信州大学人文学部教授。歴史学博士。主な著書『戦国時代の民衆たち』『武田信玄』
- 14:45～ 15:45 討論  
コーディネーター：萩原三雄氏 [はぎわら みつお]  
1947年山梨県生まれ。早稲田大学第一法学部卒業。現在、帝京大学山梨文化財研究所所長。編著書『中世の城と考古学』『戦国時代の考古学』

■ 15:45～ 閉会式

※日程・プログラムは変更となる場合もあります。

## 武田の里にらさき

山梨県韮崎市水神一丁目3番1号  
韮崎市役所

URL/http://www.city.nirasaki.lg.jp

文化庁「埋蔵文化財保存活用整備事業」

